

	作品名	作品名（読み方）	制作年	材質・技法	寸法（単位はcm、h=高さ、w=幅、d=奥行、D=径）	所蔵先
40	白瓷花入	はくじはないれ	1997年	磁器	h14.9 w31.9 d20.0	佐野重雄氏蔵
41	白瓷花入	はくじはないれ	1993年	磁器	h28.3 D18.0	個 人 蔵
42	白瓷壺	はくじつぼ	1997年	磁器	h25.5 D14.6	個 人 蔵
43	白瓷花入	はくじはないれ	2000年	磁器	h26.1 D13.2	佐野重雄氏蔵
44	白瓷楕円鉢	はくじだえんばち	1997年	磁器	h11.0 w32.8 d25.3	個 人 蔵
45	白瓷花器	はくじかき	2002年	磁器	h18.2 w30.3 d17.5	佐野重雄氏蔵
46	青白瓷鎚扁壺	せいはくじしのぎへんこ	1997年	磁器	h36.2 w15.8 d14.7	吉野幾雄氏蔵
47	青白瓷鎚扁壺	せいはくじしのぎへんこ	2000年	磁器	h32.3 D20.1	個 人 蔵
48	白瓷扇面鉢	はくじせんめんばち	2008年	磁器	h13.3 w30.0 d17.3	個 人 蔵
49	白瓷器	はくじき	1999年	磁器	h30.0 D18.8	東広島市立美術館
50	白瓷透鉢	はくじすかしばち	2002年	磁器	h7.8 D26.3	鈴木英夫氏蔵
51	白瓷器	はくじき	1996年	磁器	h21.6 w38.7 d23.6	個 人 蔵
52	白瓷器	はくじき	1996年	磁器	h20.4 w32.3 d21.7	個 人 蔵
53	白瓷円環	はくじえんかん	1996年	磁器	h22.4 w36.0 d22.9	個 人 蔵
54	白瓷円環	はくじえんかん	1995年	磁器	h38.0 D25.0	殿村武久氏蔵
55	白瓷円環	はくじえんかん	1995年	磁器	h23.4 w40.6 d26.1	個 人 蔵
56	白瓷器	はくじき	1994年	磁器	h14.0 w29.0 d17.5	個 人 蔵
57	白瓷円環	はくじえんかん	1992年	磁器	h33.8 D19.1	個 人 蔵
58	白瓷器	はくじき	1997年	磁器	h35.3 D20.8	湯浅法最氏蔵
59	白瓷器	はくじき	2007年	磁器	h31.9 D21.9	個 人 蔵
60	白瓷器	はくじき	2004年	磁器	h29.1 w18.5 d18.3	個 人 蔵
61	白瓷面取壺	はくじめんとりつぼ	2009年	磁器	h33.8 D16.4	個 人 蔵
62	白瓷扁壺	はくじへんこ	2009年	磁器	h28.8 D23.8	個 人 蔵
63	白瓷面取壺	はくじめんとりつぼ	2009年	磁器	h35.0 D39.0	個 人 蔵
64	白瓷皿	はくじざら	2008年	磁器	h5.1 D33.0	太田淳一氏蔵
65	白瓷面取鉢	はくじめんとりばち	2008年	磁器	h6.2 D31.9	個 人 蔵
66	白瓷皿	はくじざら	2008年	磁器	h5.2 D33.4	個 人 蔵
67	白瓷面取壺	はくじめんとりつぼ	2006年	磁器	h40.6 w38.4 d37.5	個 人 蔵
68	白瓷面取鉢	はくじめんとりばち	2007年	磁器	h10.5 D51.6	個 人 蔵
69	白瓷面取鉢	はくじめんとりばち	2004年	磁器	h12.3 D48.6	個 人 蔵
70	白瓷捻壺	はくじひねりつぼ	2004年	磁器	h29.3 D21.5	個 人 蔵
71	白瓷壺	はくじつぼ	2009年	磁器	h39.6 D31.1	個 人 蔵
72	白瓷捻壺	はくじひねりつぼ	2008年	磁器	h29.5 D16.2	個 人 蔵
73	白瓷香炉	はくじこうろ	2008年	磁器	h16.5 D25.0	個 人 蔵
74	淡紅白瓷捻水指	たんこうはくじひねりみずさし	2007年	磁器	h16.2 D17.4	個 人 蔵
75	淡紅白瓷壺	たんこうはくじつぼ	2008年	磁器	h20.9 D15.0	個 人 蔵
76	淡紅白瓷鉢	たんこうはくじばち	2009年	磁器	h17.5 w25.2 d20.9	個 人 蔵
77	淡紅白瓷面取壺	たんこうはくじめんとりつぼ	2008年	磁器	h40.0 D32.2	個 人 蔵
Ⅳ 日常の白瓷器						
78	白瓷手付鉢	はくじてつきばち	1998年	磁器	h16.3 D23.3	個 人 蔵
79	白瓷手付鉢	はくじてつきばち	2002年	磁器	h18.7 D17.9	個 人 蔵
80	白瓷手付鉢	はくじてつきばち	2004年	磁器	h16.8 w14.5 d16.1	太田淳一氏蔵
81	白瓷面取合子	はくじめんとりごうす	2009年	磁器	01. h8.1 w7.2 d7.1 02. h7.5 w8.3 d8.2 03. h7.2 w7.9 d7.4 04. h6.6 w6.5 d6.6 05. h6.0 w8.9 d5.3 06. h6.8 w7.7 d7.5	個 人 蔵
82	白瓷面取蓋物	はくじめんとりふたもの	2004年	磁器	h11.2 D15.4	個 人 蔵
83	白瓷面取硯	はくじめんとりすずり	2003年	磁器	h4.7 D11.9	個 人 蔵
84	白瓷面取鎮	はくじめんとりちん	2003年	磁器	h3.4 w19.9 d2.1	鈴木英夫氏蔵
85	白瓷面取水滴	はくじめんとりすいてき	2003年	磁器	h3.0 w6.3 d4.0	個 人 蔵
86	白瓷香炉	はくじこうろ	2006年	磁器	h11.6 D8.7	湯浅法最氏蔵
87	白瓷香合	はくじこうごう	1998年	磁器	h5.6 D5.9	個 人 蔵
88	白瓷鎚蓋物	はくじしのぎふたもの	2000年	磁器	h7.0 D6.9	個 人 蔵
89	白瓷香合	はくじこうごう	2002年	磁器	h4.5 w9.9 d4.5	個 人 蔵
90	白瓷台皿	はくじだいざら	2002年	磁器	h8.1 D23.0	個 人 蔵
91	白瓷面取茶碗	はくじめんとりちゃわん	2008年	磁器	h9.0 D12.0	個 人 蔵
92	白瓷面取盃	はくじめんとりはい	2002年	磁器	h5.3 D5.4	佐野重雄氏蔵
93	白瓷捻面取德利	はくじめんとりとっくり	2002年	磁器	h14.5 D8.0	佐野重雄氏蔵
94	白瓷捻面取高盃	はくじめんとりこうはい	2004年	磁器	h7.1 D6.4	佐野重雄氏蔵
95	白瓷面取湯呑（五客）	はくじめんとりゆのみ	2009年	磁器	各h8.0 D7.7	個 人 蔵

96	白瓷面取鉢(五客)	はくじめんとりばち	2009年	磁器	各 h4.1 D15.2	個人蔵
97	白瓷面取咖啡碗(六客)	はくじめんとりこーひーわん	2009年	磁器	各 h9.5 D15.1	個人蔵
98	白瓷三方鉢	はくじさんぼうばち	1998年	磁器	h10.8 D23.7	個人蔵
99	白瓷面取組鉢	はくじめんとりくみばち	2009年	磁器	大. h6.1 D21.0 中. h5.2 D18.3 小. h4.8 D16.0	個人蔵
100	白瓷鉢	はくじばち	1994年	磁器	h6.9 d21.3	個人蔵

※本展は以下の概要で大阪市内のアートコートギャラリーに巡回した。

●「前田昭博 白瓷の造形」

会 期	平成22 (2010) 年 1 月 9 日 (土) ～ 2 月 7 日 (日) 26日間 (月曜休館)
入館者数	951人
会 場	アートコートギャラリー (大阪市北区天満橋 1-8-5 OAPアートコート 1F)
主 催	アートコートギャラリー、鳥取県立博物館
協 賛	三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、OAPマネジメント株式会社
入 館 料	一般 500円 (団体 400円)、学生300円 (団体250円)、中学生以下無料
展示点数	60点

〈関連行事〉

「トークセッション 前田昭博氏×外館和子氏」

日 時	1 月 9 日 (土) 15:00～16:30
会 場	OAPタワー 24階会議室
講 師	前田 昭博氏、外館 和子氏 (茨城県つくば美術館主任学芸員)
参加人数	90人

●「新収蔵品展－歴史系学芸員のオススメ100選－」

会 期	平成22年 1 月16日 (土) ～ 2 月14日 (日) 29日間 休館日: 1 月25日 (月)
入館者数	2,617人
会 場	鳥取県立博物館 第1 特別展示室
主 催	鳥取県立博物館
協 賛	株式会社吉備総合電設、三和商事株式会社、株式会社モリックスジャパン
入 館 料	一般400円 (前売団体200円)
内 容	平成以降に、博物館が新たに収蔵した考古・歴史・民俗部門資料をお披露目する 展覧会。鳥取の歴史・文化を楽しめる逸品から珍品までを、厳選して紹介した。

〈関連行事〉

(1) 歴史講座「明治・大正の鳥取 －新収蔵品資料より－」

期 日	1 月17日 (日) 14:00～15:30
会 場	当館講堂
講 師	石田 敏紀 (当館副主幹)

参加人数 19人

(2) 歴史講座「新収蔵資料からみた鳥取藩士の実像」

期 日 1月24日（日）14：00～15：30

会 場 当館講堂

講 師 来見田博基（当館学芸員）

参加人数 50人

(3) 講演会「日本刀を楽しむ ～刀研ぎと鞘づくりをみてみよう～」

期 日 1月30日（土）13：30～15：30

会 場 企画展会場・講堂

講 師 森井 惇訓氏（一般財団法人日本刀文化振興協会評議員）
森井鐵太郎氏（刀剣研師）、森井敦央氏（刀剣鞘師）

参加人数 190人

(4) 「鳥取藩の武家屋敷 ―新収蔵品資料より―」

期 日 1月31日（日）14：00～15：30

会 場 当館講堂

講 師 大嶋 陽一（当館学芸員）

参加人数 42人

(5) 講演会「鳥取県立博物館のコレクションについて ―民俗資料を中心に―」

期 日 2月7日（日）14：00～15：30

会 場 当館講堂

講 師 野地 恒有氏（愛知教育大学教授）

参加人数 48人

(6) 「古文書の修復を体験しよう」

期 日 2月11日（木・祝）10：00～12：00、14：00～16：00

会 場 会議室

講 師 大嶋 陽一（当館学芸員）、野島 綾子（当館職員）、浜橋 明代（当館職員）

参加人数 22人

(7) ギャラリートーク

期 日 1月16日（土）、1月23日（土）、2月6日（土）、2月13日（土）

会 場 展示室

参加人数 119人

〈出品目録〉

番号	資 料 名	点数	大きさ (cm)
1	布勢遺跡縄文土器	1 括	
2	石鏃(鳥取砂丘出土)	5 点	3.0 (左上)
3	分銅形土製品	1 点	9.3×8.5
4	銅鐸	2 点	全高22.3、41.6
5	土師器壺	1 点	
6	子持勾玉	5 点	10.3 (下中央)
7	八坂古墳出土資料	1 括	94.6 (鉄刀)
8	須恵器	1 括	
9	滝山経塚出土資料経筒、紙本経	21点	27.8 (経筒)
10-1	槍 銘 因州小幡住景家作 永正元年甲子八月日	1 本	32.4
10-2	刀 銘 信濃大掾藤原忠国	1 口	刃長70.0、反り1.2
10-3	刀 銘 美濃守藤原朝臣寿格 寛政八年丙辰十一月於 武州以伯州印賀鋼鉄造之	1 口	刃長63.5、反り1.0
10-4	脇指 銘 因州住寿実	1 口	刃長40.8、反り0.4
10-5	短刀 銘 伯州住広賀作 元龜三年八月日	1 口	刃長35.7、反り0.3
10-6	太刀 銘 帝室技芸員菅原原則八十八翁作 為梅原家大正六年五月吉日	1 口	刃長68.8、反り1.2
10-7	刀 銘 伯耆国住吉幸 文久二年二月日	1 口	刃長75.6、反り2.3
11	刀 銘 出羽大掾藤原國路	1 口	刃長71.2、反り2.0
12-1	短刀 銘 備前国住長船次郎左衛門尉勝光、 同左京進宗光、魚住修理亮能安於御前作之、永正七年八月吉日	1 口	刃長18.5
12-2	茶石目地塗海松紋合口拵 如葛齊保一(小林珍平)作		31.5
13	横矧菱綴二枚胴具足	1 領	
14	色々威胴丸	1 領	
15	陣羽織	1 領	身丈100.5×拵32.0
16	袴	1 領	
17	小袖	1 領	身丈140.0×拵62.0
18	因幡東照宮祭礼御予参行列図巻	2 巻	10.0×284.0 (2巻共)
19	西館池田家行列図巻	1 巻	40.0×1450.0
20	因幡東照宮祭礼行列絵巻	1 巻	14.3×1100.0
21	安政軍式改正四正将白虎陣将陣立図巻	1 巻	27.0×1756.0
22	天正十三乙酉年尾州小牧長久手合戦図	1 舗	1880.0×1950.0
23	伯耆国輿地全図	1 舗	74.0×135.0
24	伯耆国海岸図	1 舗	71.0×330.0
25	因幡国岩井郡大谷沢周辺略図	1 舗	183.0×92.0
26	因幡国気多郡図	1 舗	79.0×109.5
27	伯耆国会見郡大庄屋構色分図	1 舗	76.0×77.0
28	会见郡渡村・出雲国江島間取取調絵図	1 舗	58.9×71.5
29	安藤用水絵図	1 舗	83.0×141.0
30	恵下原新田田地山鉄穴絵図面	1 舗	113.5×84.0
31	倉吉町略絵図	1 舗	80.0×50.0
32	米子町略絵図	1 舗	54.0×38.0
33	会见郡串尾村田畑地続全図	1 舗	278.0×192.0
34	鶴殿家御屋敷図面	1 舗	120.0×86.5
35	佐分利家家相図	1 舗	87.0×106.0
36	伯耆三十三霊場絵図	1 枚	37.5×48.7
37	米子入札場所之図	1 枚	32.0×48.8
38	日本外史之内 後醍醐天皇名和上陸	3 枚続	35.7×71.7
39-1	六十余州名所図会因幡加路小山	1 枚	36.2×24.7
39-2	六十余州名所図会伯耆大野大山遠望	1 枚	37.2×25.3
40	毛理嶋山官軍大勝利之図	6 枚続	
41	羽柴秀吉書状	1 通、折紙	28.7×44.7
42	南条元統感状	1 幅 (折紙)	36.0×47.5 (本紙)
43	豊臣秀次朱印状	1 幅 (折紙)	44.0×56.5 (本紙)
44	池田光政(幸隆)知行宛行状	1 通、折紙	41.0×56.0